

迅速に初動態勢

大成ロテック

・BCP訓練

大成ロテックは9日、全国の拠点でBCP（事業継続計画）訓練を実施した（写真）。同社とグループ会社のポー、ティーアールコンサルタン、ト、泰明工業、京丹建設社員も含め1625人が参加し、冬期休日の午前6時に都心南



部で地震が発生した想定で発災時の対応を確認した。

して遠隔指揮を取る訓練も実施した。

訓練では、災害対策本部となる東京都新宿区の本社に障害が発生した想定のもと、代替拠点として従来の鴻巣研修センターに加えて、さいたま市の北関東支社を設定し、2カ所で災害対策本部を立ち上げた。そのうち、北関東支社

同日に実施された大成建設のBCP訓練とも連携し、緊急連絡体制の確保や情報収集訓練、大成建設からの支援要請に対する対応訓練を実施。災害用資機材手配・供給訓練にも参加した。

から社員・社員家族の安否確認や全国の拠点とのテレビ会議システムを利用した通信確認を実施し、初動態勢を取ることができていることを確認した。また、主要要員が災害対策本部に参集できない事態に備え、自宅最寄り拠点に参集

訓練後、西田義則社長は「当社は日本道路建設業協会会長会社であるとともに日本建設業連合会の理事会社であり、さらに日建連会長会社の大成建設のグループ会社であることを念頭に、有事の際には迅速に対応できるよう準備してほしい」と講評した。